

再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：深澤 淳志

事業名	地域高規格道路 倉敷福山道路 一般国道2号 笠岡バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	自：岡山県笠岡市西大島新田 至：岡山県笠岡市茂平				延長	7.6 km
事業概要						
<p>一般国道2号は、大阪市を起点とし、瀬戸内海沿岸の主要都市を經由し北九州市に至る延長約680kmの主要幹線道路である。笠岡バイパスは、一般国道2号の渋滞緩和・交通安全の確保及び沿道環境の改善等を目的とした、笠岡市西大島新田から笠岡市茂平に至る延長7.6kmのバイパスであり、地域高規格道路「倉敷福山道路」の一部を構成する。</p>						
S63年度事業化		S63年度都市計画決定		H2年度用地着手		H10年度工事着手
全体事業費		約300億円		事業進捗率		52% 供用済延長 3.3 km
計画交通量		39,600 ～ 44,000 台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体)	6.3	総費用 (残事業)/(事業全体)	114 / 294 億円		総便益 (残事業)/(事業全体)
	(残事業)	11.3	事業費	100 / 279 億円		
			維持管理費	15 / 15 億円		走行時間短縮便益: 931 / 1,395億円
						走行経費減少便益: 255 / 330億円
						交通事故減少便益: 104 / 131億円
感度分析の結果						
残事業（事業全体）について感度分析を実施						
交通量変動 : B/C=13.2 (交通量+10%) B/C=9.6 (交通量-10%)						
事業費変動 : B/C=10.4 (事業費+10%) B/C=12.4 (事業費-10%)						
事業の効果等						
<ul style="list-style-type: none"> 円滑なモビリティの確保（現道の年間渋滞損失時間が削減される） 安全で安心できる暮らしの確保（三次医療施設までの所要時間短縮） 						
他17項目に該当						
関係する地方公共団体等の意見						
笠岡バイパスは、交通混雑の緩和等に重要な役割を果たすことが期待されており、笠岡市など3市1町から構成される国道2号玉島笠岡間整備促進協議会より早期整備の要望を受けている。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等						
笠岡市の人口は近年減少傾向にあるものの、自動車保有台数は増加傾向となっている。また、笠岡湾沿岸部工業地帯の産業振興や笠岡湾干拓地域のバイオスタウン構想等により、沿線地域において更なる交通需要が見込まれる。						
事業の進捗状況、残事業の内容等						
平成19年度末で用地買収は約85%完了しており、現在までに、笠岡市西大島新田～笠岡市入江（L=0.4km）及び笠岡市カブト南町～笠岡市港町（L=2.9km）間が部分的に暫定供用済み。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等						
投資効果の早期発現を図るため段階的に整備しており、引き続き早期全線供用を目指し、事業を推進する。						
施設の構造や工法の変更等						
最新の地盤改良工法及び軽量盛土工法の採用によりコスト縮減を図っている。また、橋桁に海浜・海岸耐候性鋼材を使用することで、塗装塗替に係る費用を無くし、維持管理コストの縮減も図っている。						
対応方針		事業継続				
対応方針決定の理由						
以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。						
事業概要図						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。